

宮城県多賀城高等学校 SSH 公開事業「SS 先端研究講話」で講義を行いました

(2025/12/19)

テーマ：多賀城高等学校、災害科学科、SSH、出前講義
会 場：宮城県多賀城高等学校 3 階第 2 講義室

12月9日、宮城県多賀城高等学校において、SSH公開事業「SS先端研究講話」が開催され、災害科学国際研究所から4名の講師が講義を行いました。SSHとは、文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール」であり、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的な探究能力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組です。多賀城高校は宮城県内で指定を受けている高等学校4校のうちの1校となっています。

当研究所の講師が担当した「SS先端研究講話」の受講者は、多賀城高等学校災害科学科1年生の全生徒であり、4名の講師と各講義題目は以下の通りです。

- 佐藤 健 教授（防災教育実践学分野）
「緊急地震速報のしくみとその利活用～リードタイムはどのようにして生み出されるのか～」
- 佐藤 翔輔 准教授（防災社会推進分野）
「災害伝承に関する災害科学研究例」
- 斎藤 玲 助教（認知科学研究分野／本務先：情報科学研究科）
「災害と伝承・防災教育における研究について：元気、根気、やる気、勇気、ときめき、そして Methodology」
- 中鉢 奈津子 特任准教授（広報室）
「市民の視点を踏まえて住宅耐震化を進めるための研究」

上記の各教員がそれぞれ4つのブースに分かれ、10名前後の生徒に対する50分間の講義と質疑応答を、休憩を挟んで2回行いました。このSS先端研究講話は、昨年度から開始されたものであり、当面の間は毎年開催されることから、多賀城高等学校が取り組んでいるSSHの事業推進に対する災害科学国際研究所のさらなる貢献が期待されます。

文責：佐藤 健（防災教育実践学分野）